

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

CELERY

セロリ

2017.4
April
No.103

| 特集 |

キラリ、輝く未来

～ようこそ、新入生!はばたけ、卒業生!～



トビタテ!留学
JAPANで大きな夢に
挑戦する学生の
インタビューを掲載

中面をCHECK!

「一汁三菜Bento」を アメリカで広めたい



旬のひと

第8回

栄養科学科4年

安永 麻紀さん

(福岡県立玄界高等学校出身)

「和食の基本スタイルである一汁三菜を“Bento”にして、アメリカで広めたい」
その大きな夢が共感を呼び、『トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム』に採択。
アメリカでの一汁三菜の認知度の向上をめざす安永さんにお話を伺いました。



**短大からの編入という夢を叶え
次の夢に向かって留学を決意**

短期大学部食物栄養学科に入学直後から「中村の栄養科学部でより深く勉強したい」と、編入の目標を持っていたという安永さん。編入の夢を叶えるため、「毎日一心不乱に勉強しました」と短大での学業に励んだそうです。努力の結果、学年2位の成績をキープし、念願の栄養科学部に編入したのです。

大学で学びはじめた安永さんは、栄養学に没頭。短大時代の海外研修もきっかけとなり、次の夢に出会えます。「中村で学んだ一汁三菜を海外で広めたい!」。安価で栄養バランスの良い「Bento」を開発し、和食のすばらしさを海外に発信したいと目を輝かせます。その第一歩として、『トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム』でアメリカへ飛び立つ安永さん。現地では料理教室を開いたり、日本食レストランの協力を得て、実際に「Bento」の開発に取り組み予定なのだとか。今後の活躍が楽しみです。

※「トビタテ!留学JAPAN日本プログラム」とは…日本の若者を将来世界で活躍できるグローバル人材に育成する官民協働の海外留学支援制度。

CELERY

No.103

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌 [セロリ] 2017.4.28 発行



02 ----- キラリ、輝く未来
~ようこそ、新入生!はばたけ、卒業生!~

卒業生インタビュー

07 ----- 先輩に会いたい!
福岡市立有田小学校 教諭 赤星 航史郎さん

Column1

08 ----- フード・マネジメント学科 Information

09 ----- 「薬膳EXPO 2017」

11 ----- CELERY誌面講座
第7回 キャリア開発学科 藤島 淑恵 准教授
「人生を楽しくするマナー」

Column2

13 ----- クラブ&サークル
[バドミントン同好会]

14 ----- NEWS&TOPICS

特集

平成29年度入学式
平成28年度学位記授与式

キラリ、 輝く未来

～ようこそ、新入生！はばたけ、卒業生！～

中村学園大学・中村学園大学短期大学部では、
平成29年3月10日に学位記授与式、そして、4月3日に入学式が行われました。
卒業生にとってはそれぞれの道へと進み、社会へとはばたく春。
新入生にとっては、希望に満ちた学生生活のはじまりとなる春。
それぞれの思いを「PICKLES」が取材しました。



学生広報アシスタント「PICKLES(ピクルス)」が、
入学式・卒業式を取材しました



〔平成29年度〕

入学式

寒さが続き、例年よりも桜の開花が遅れる中、
ようやく春らしい暖かな日差しに恵まれた

平成29年4月3日。

入学式が行われました。

期待に胸を膨らませた新入生と

保護者の皆さまの喜びに満ちた笑顔が

キャンパスを彩る中、

今年もまたたくさんの

新・中村生が誕生しました。



新入生コメント

大学 栄養科学部栄養科学科



平瀬晶子さん

(福岡工業大学附属城東高等学校出身)

将来素敵な管理栄養士として活躍できるように頑張ります。サークル活動も楽しみたいので、勉強とサークル活動の両立を目指します。

短期大学部 食物栄養学科



中本帆南さん

(福岡調理学館高等学校出身)

新しい環境に馴染めるかどうか、少しだけ不安がありますが、新しい友達をたくさん作りたいです。一生懸命勉強し、得意料理を増やします。

大学 栄養科学部 フード・マネジメント学科



林田千彩さん

(城南高等学校出身)

将来は食品関係の仕事を目指しており食品メーカーに勤めたいので、大変だとは思いますが、知識をつけていきたいと思っています。

短期大学部 キャリア開発学科



安藤真美子さん

(中村学園女子高等学校出身)

学生生活の目標は秘書検定などの資格取得です。また、親に認めてもらえるような自立した学生になりたいです。

大学 教育学部



山口正真さん

(香椎高等学校出身)

母が教員ということもあり、教員に憧れて教育学部に入學しました。友達ができるか不安ですが、4年間頑張って立派な先生になりたいと思います。

短期大学部 幼児保育学科



長谷合 弥子さん

(福岡調理学館高等学校出身)

これから始まる学生生活を楽しみにしています。一年前から始めたピアノを上達させるために学校の授業を頑張ります。

大学 流通科学部



三浦宣太郎さん

(香住丘高等学校出身)

楽しむときは楽しみ、毎日の授業は休まず出席するよう頑張ります。将来の夢がまだ定まっていないので、大学で学んでいく中で見つけるつもりです。



はばたけ、卒業生！

〔平成28年度〕

学位記授与式



卒業生コメント

「CELERY」に掲載されたことのある卒業生たちにインタビューしました

短期大学部 食物栄養学科



No.95
「入学式」に掲載
小川 舞子さん
(福岡県立嘉穂東
高等学校出身)

短大生活で一番印象深いことは学内、校外実習です。友達との協力、社会でのコミュニケーションをどうとるか学びました。校外実習では保育園で子供達に実際に食事を作り提供し「おいしい」と言ってもらったことにやりがいを感じました。

2年間という短い短大生活でしたが、これからはコンビニの商品開発など、みんなが喜んでくれる商品を作っていきたいです。

大学 栄養科学部



No.87
「入学式」に掲載
山崎 里穂さん
(福岡県立三池
高等学校出身)

大学4年間を通して頑張ったことは、管理栄養士国家試験、行政栄養士受験のための勉強です。また、健康増進センターでのボランティア、クラスでの調理実習や実験を通して人と協力して物事を成し遂げることの大切さを学びました。就職後は、大学で学んだことを生かし、管理栄養士として福岡県の課題である国民医療費の削減や健康寿命の延伸に尽力していきたいです。

短期大学部 幼児保育学科



No.95
「入学式」に掲載
白石 貴子さん
(九州国際大学付属
高等学校出身)

北九州から毎日通学するのは大変でしたが、毎日の授業が価値のあるものと思っていたので、苦手な教科も苦痛ではありませんでした。また、友達と励まし合うことで学外実習やピアノ練習も乗り越えることができ、保育者としての基礎を培うことができました。今後は自立し、明るく笑顔の絶えない保育士になれるよう頑張っていきたいです。

大学 教育学部



No.95「がんばれ
中村生」に掲載
飯田 海人さん
(福岡県立城南
高等学校出身)

2年生から始めたカンボジア訪問のボランティアでは日本とは違った教育や現地の子供たちとの交流を通して、教員生活のヒントをもらいました。3年生の小学校教育実習では翌日の授業の準備や一人一人の児童のレベルに合わせた指導に苦心しました。4月からは県内の小学校で働きますが、子供たちが「こんな大人になりたい」と思うような、お手本となる先生を目指したいです。

短期大学部 キャリア開発学科



No.96「この授業に
注目」に掲載
福地 七奈さん
(佐賀県立牛津
高等学校出身)

一年生の頃から、アルバイトや一人暮らしをしながら資格取得に励む毎日を過ごしてきました。その結果、秘書検定や日商PC検定などの資格を取ることができ、就職活動にも活かされました。4月からは営業職となりますが、保険等、業務に関する勉強もしながら頑張っていきます。キャリア開発学科の在学生のみなさん、授業全てが自分のものになるので、一つ一つの授業を大切に頑張ってください。

大学 流通科学部



No.101
「旬の人」に掲載
小松 佑也さん
(福岡県立朝倉東
高等学校出身)

4年間の大学生活では、人との関わりを広げ、何でも相談し合えるような雰囲気を作るため、ゼミでは人脈作りをすることを心がけました。ゼミでの活動やボランティアがたくさんあり大変でしたが、与えられた仕事はきちんとこなすという責任感が芽生えました。4月から社会人ですが、上司を見習い、同僚や後輩の見本となるような社員になれるよう、楽しむ気持ちを忘れず日々努力します。

平成29年3月10日、本学体育館にて学位記授与式が行われました。やわらかな春の日差しに包まれたキャンパスでは仲間と思い出を語ったり、記念撮影したりする姿も。式では卒業生に学位記が授与され、今年もまたたくさんの中村生たちが新たな第一歩を踏み出しました。



広報アシスタントの ピクルスメンバーも卒業です



栄養科学部
山道 奈緒さん

流通科学部
大津 涼太郎さん

キャリア開発学科
綾戸 夏美さん

先輩に 会いたい!

さまざまな現場で活躍する
中村の卒業生をインタビュー!
先輩たちの“今”を紹介します。

OB・OG
interview
vol.08



小学校教員として
10年以上のキャリアを持つ
赤星航史郎さんに、
仕事のやりがいや
今後の目標について
お話を伺いました。



赤星 航史郎さん koshiro akahoshi

平成15(2003)年度 家政学部(現教育学部)卒業
勤務先:福岡市立有田小学校

子どもたちの表情を もっと輝かせたい

小学生の時にお世話になった先生が素晴らしい方で、そのことが教員をめざすきっかけになりました。仕事には大変な面もありますが、子どもたちから教わることに、気づかせてもらうことが多く、自分自身も成長できるのが魅力です。

子どもはとにかく正直。授業の準備を怠ると、子どもたちの反応も理解も薄くなります。だからと言って、準備万端だと思ってもこちらの思惑通りにはならないこともあります。だから授業は面白いし、教師がしっかり準備をして臨むことで子どもたちと一緒に授業を作り上げることが出来ます。「勉強がわかった」「学校が楽しい」と言ってもらえると本当にうれしく、授業の腕を磨くために休日は研修にも参加しています。頑張れば頑張っただけ結果がついてくるのでやりがいがありますよ。学ぶ楽しさを伝え、意欲を引き出せる教師になれたらと思います。



中村ハル先生の言葉を 子どもたちにも

中村に入学したのは高校の先生に勧められたのがきっかけでしたが、中村で学んだおかげで今の自分があると感謝しています。まず、専攻が二つの教科ではなく、全ての教科を広く学ぶことができたこと。次に、実際に現場で活躍された素晴らしい先生方から直接その教科の基礎基本を学ぶことができ、質の高い授業を受けることができたこと。この二つが私の力になっています。また、中村ハル先生の「努力の上に花が咲く」という言葉は、私の大切な宝物。子どもたちにもよくこの言葉を贈っています。

教員になってこの春で12年目になり、団塊の世代の先輩方がたくさん引退されていく中、最近では後輩たちの指導についてもよく考えるようになりました。いっしょに働きながら若い世代を育てていけたらと思います。いつか同じ職場で働くことになるかもしれない学生の皆さんとも、児童教育燦倫会(※)を通して一緒に学んでいきたいと思っています。





Nakamura New Face

フード・マネジメント 学科

Information

News.1

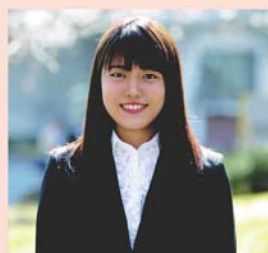
4月3日、 1期生126名が入学

4月3日、入学式が挙行され、フード・マネジメント学科1期生126名が入学しました。晴れて入学式を迎えた1期生の皆さんに、心境をうかがいました。



松本梨香さん

食品開発に興味があり、この学科に入学しました。授業についていけるか不安ですが、留学も考えているので、毎日の授業を熱心に取り組み、分からないところは復習するなど努力していきます。



佐藤衣純さん

自分のやりたい勉強ができるので楽しみです。将来の夢が商品開発なのでしっかり勉強して夢を実現していきたいです。



柳田いずみさん

在学中に学べることは全力で学んで、将来の目標にしっかり活かしたいです。また、栄養科学部だけでなく他学部の人とも交流して、色々な考えの人と話してみたいと思っています。

News.3

「一風堂」を展開する 「力の源カンパニー」より 講師を招き、 産学連携授業を開講

フード・マネジメント学科では、1年次前学期に、産学連携授業「コミュニケーション・リーダーシップ演習」を開講します。福岡発祥、世界12ヶ国、地域に60以上の店舗を持つラーメンブランド「一風堂」を展開する株式会社力の源カンパニー星崎剛士氏を講師に招き、食産業で必要とされるコミュニケーション能力、チームを牽引するリーダーシップを学びます。「一風堂の社員教育に実際に使われている「7つの習慣」を教材とし、デイスカッションやワーク中心の授業が展開されます。



News.2

1期生全員に ノートパソコンを配布

4月4日、新入生オリエンテーションにて、1期生全員にノートパソコンが配布されました。配布されたパソコンは、N T TドコモのLTE通信を利用する機能が付いたパナソニックの「レッツノート」で、学外でのフィールドワーク時にも活用でき、アクティブライニングに適した規格となっています。1人1台、自分のパソコンを手にした学生たちは、「このような整った環境が準備され、感激した」「毎日パソコンを開いて早く慣れたい」など、期待とともに、一層やる気が高まった様子でした。





YAKUZEN EXPO 2017

2017.9/1 [金]・2 [土]・3 [日] 開催!

来る9月1日から3日に開催される「YAKUZEN EXPO 2017」(主催:中村学園大学、上海中医薬大学)につきましては、本誌102号(平成29年3月末発行)にて全体の概要をお知らせいたしました。今回は、さらに詳しい概要や主な構成についてご案内いたします。

※内容の一部には予定を含んでおり、変更になる場合があります。

開催概要

[名称] YAKUZEN EXPO 2017
 [日程] 2017年9月1日(金)～3日(日) 3日間
 [会場] 福岡国際センター(展示会)及び福岡国際会議場(シンポジウム)
 [主催] 中村学園大学、上海中医薬大学
 [後援] 福岡県、福岡市、中華人民共和国駐福岡総領事館、経済産業省九州経済産業局、厚生労働省九州厚生局、農林水産省九州農政局、福岡県教育委員会、産業医科大学、福岡商工会議所、一般社団法人九州経済連合会、一般社団法人福岡中小企業経営者協会、九州電力株式会社、株式会社西日本シティ銀行、株式会社福岡銀行、西日本鉄道株式会社、西部ガス株式会社、株式会社九電工、九州旅客鉄道株式会社、株式会社西日本新聞社、株式会社ふくや、株式会社トーホー、ロイヤルホールディングス株式会社、JA福岡中央会、福岡県食品産業協議会、一般社団法人福岡市私立幼稚園連盟、一般社団法人福岡市保育協会、公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人福岡県栄養士会、公益社団法人福岡県医師会、一般社団法人福岡市医師会、一般社団法人福岡県歯科医師会、公益社団法人福岡県薬剤師会、公益社団法人福岡県看護協会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、日本食生活学会、一般社団法人日本食物繊維学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、他多数
 [料金] 展示会入場料/500円(3日間有効)シンポジウム参加料/無料(一部有料/1,000円)

来場者(予定) 20,000名程度

一般市民、食と健康に関心のある学生・生徒、栄養士・管理栄養士・調理師(病院、学校、児童福祉施設、社会福祉施設、事業所等)、フードサービス(外食、給食、中食)、小売(百貨店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア)、メーカー(食品・飲料)、教育研究(食と健康に携わる食品科学・中医薬等)、医療(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護士等)、流通 等

協賛及び出展者(予定) 100社予定

食品製造・加工メーカー(調理済食品、調味料、香辛料、特定栄養保健用食品、栄養機能食品等)、食品・飲料関連団体、調理機器関連企業、流通関連企業、生産関連団体、自治体、学校、生産者、食コンサルタント 等

主な構成

- 1 展示会(テーマ展示、企業展示、大学・研究機関展示、料理ショー 等)**
日時:2017年9月1日(金)～3日(日) 10:00～17:00
場所:福岡国際センター
- 2 YAKUZEN EXPO 2017開催記念シンポジウム**
日時:2017年9月1日(金) 10:00～12:30
場所:福岡国際会議場 メインホール
テーマ:「世界にむけた「YAKUZEN」の発信」
- 3 「食」のサミット**
日時:2017年9月1日(金) 13:30～16:30
場所:福岡国際会議場 メインホール
テーマ:「世界の中高生による「食」に関する諸問題の解決策」
- 4 市民公開講座**
日時:2017年9月2日(土) 10:00～12:00
場所:福岡国際会議場 メインホール
テーマ:「日本の食文化と養生(飯)」
- 5 フード・マネジメント学科開設記念シンポジウム**
日時:2017年9月2日(土) 13:00～16:00
場所:福岡国際会議場 メインホール
テーマ:「食産業のこれからと人材育成」

「YAKUZEN EXPO 2017」 開催記者発表会を開催しました



上海中医薬大学 王秀蘭院長 中村学園大学 甲斐 諭学長

今回の「YAKUZEN EXPO 2017」の開催目的や内容等の概要の説明を目的とした記者発表会が、4月17日に本学にて行われました。主催者を代表して中村学園大学の甲斐学長が「本EXPOは、現代社会において人々の食の営みをもう一度食の原点にもどってながめてみようというコンセプトで開くものである。食がもたらす健やかな暮らしを育むことを『生きる』という言葉に込めて、更に進化した「日本型薬膳」をライフスタイルとしての食のテーマに取り上げた展示会、シンポジウム、市民公開講座などにより、新たな食とビジネスのグローバルネットワークを発信して参りたい。」と挨拶。さらに「2006年に開催した薬膳博覧会では、3日間で計1万2千名を超える来場者があり、日本で薬膳栄養の新しい潮流を巻き起こした。今回のEXPOでは、展示や中医薬専門家の派遣とともに、本学栄養学専攻学生の参加を予定しており、両大学の交流が日中の若い世代に影響を与えることを願っている。」と、その重要性をアピールしました。

発表会には新聞社、テレビ局など多くの報道関係者が出席。質疑応答では現在の準備状況や具体的な講演テーマなどの質問が相次ぎ、関心の高さがうかがわれました。

YAKUZEN EXPO 2017に
関するお問い合わせ先

YAKUZEN EXPO 2017 事務局(中村学園大学内)
〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 (TEL) 092-851-2516 (FAX) 092-841-7762
(E-mail) yakuzen2017@nakamura-u.ac.jp (HP) http://www.yakuzen-expo.jp

初心者から経験者まで、メンバーは約70名。
練習に汗を流す「バドミントン同好会」を訪ねました。



練習も遊びもいつでも真剣!楽しむだけのサークルを超えた、熱いメンバーたち!

もっと勝ちたい!

その思いが

チームワークを高める

以前は気軽に楽しむだけのサークルだったというバドミントン同好会。先輩と後輩の上下関係や、学部を超えた友達もできない状況にもどかしさを感じ、「もっと絆を大切にしたい、やる気のあるサークルにしたい」と思い立ったんです」と語ってくれたのは、部長を務める教育学部3年の窪田梨花さん。これまでの練習メニューを一から見直し、水曜と金曜は約3時間半の猛特訓。その成果が実り、先日行われた第8回オアシス杯では好成績をおさめることができました。

窪田さん自身、初心者からのスタートでしたが、「ネット際に小さく打ってポイントを決めたり、自分から仕掛けて点数を取る楽しさがたまりません!やればやるほど奥の深いスポーツです」と、バドミントンの魅力を肌で感じているようです。

今後の目標は県地区大会で好成績を残すこと。そのためさらに厳しい練習が続きますが、練習以外ではみんなで旅行に出かけたり、文化祭で揚げ餃子の模擬店を出店したりと、イベントを楽しむ一面も。サークルの楽しさに大会で勝つという目標がプラスされ、やる気に満ちあふれたメンバーたち。今後の活躍が期待されます。



「ラリーが続いた時が一番楽しい!」と話すメンバー。初心者ではシャトルを大きく飛ばすのが難しいのだとか。



バドミントンの醍醐味はなんといってもスマッシュスピードと迫力がたまりません。



第8回オアシス杯では2部と3部に出場。2部では2位、3部では1位と3位という、素晴らしい成績をおさめました。今後も他大学との試合を重ねて、県地区大会で上位に残れるよう、練習に励みます。

毎回、本学の教員が、誌面上で「CELERY」ならではの講座を開講。日常生活にも役立つさまざまな情報を発信します。

マナーはその人の人となりを表すもの

「マナー」と聞くと、特別な形式だと思いき、身構えてしまう人も多いかもしれません。実際、私たちは「この場面では、このように振る舞うのがマナー」といった形にばかり捉われて、「なぜそうするのか」という本来の意味を理解することに気持ち及んでいない場合が多いのも否めません。しかし、本来マナーは自分が恥をかかないための振る舞いや形式である以前に、自分のまわりにいる人たちに不快感を与えたり、迷惑をかけたたくないという温かい心の善意の表れであり、人生を豊かに楽しくするための規範のこと。つまり、日常生活の中で育むまわりの人への配慮や、自分の行動を律する数々の心遣いこそが、マニュアルに

円満な人間関係を築いて豊かで楽しい人生を送ろう

中村学園大学短期大学部
キャリア開発学科

藤島 淑恵 准教授

人々がより良い交流を図り、気持ちよく生活していくために、マナーは必要不可欠なものです。快いマナーを身につけた人は、周囲からの信頼を得、好感度もアップ。そこで、円滑なコミュニケーションや信頼関係を築くうえで欠かせない「挨拶」と「正しい敬語」についてお話します。

はない最も大切なマナーなのです。

マナーの本質は相手を思いやる「気持ち」であり、その第一歩は「気づくこと」です。しかし、いくら気づいていても行動しなければ気づいていないことと同じ、という結果になってしまいます。まずは、まわりの人が快いと思うことを積極的に探し、行動にうつすことから始めましょう。

相手への思いやりの気持ち大切に

人間関係のはじまりは「挨拶」です。「挨拶」という言葉には、「挨」：心を開く、「拶」：相手に近づく、という意味があります。確かに、積極的に挨拶をすれば、相手の心を開くことができ、グツと心の距離が近づいて、円滑なコミュニケーションが図れます。逆に、

実践しよう!《挨拶のポイント》

- あ** …明るく、相手の顔を見る
明るく爽やかな挨拶で好印象を与えましょう。はじめにと終わりにアイコンタクトを忘れずに。
- い** …いつでもしよう
人間関係がうまくいっているからするというより、うまくいってなければなおさら大切です。また、第一印象につながる初対面での挨拶も重要ポイント。
- さ** …先に
コミュニケーションは自分が発信源に。相手よりも先に挨拶をして、豊かな人間関係の主導権を握りましょう。先に挨拶したほうが、会話もリードしやすくなります。
- つ** …続けて
「おはようございます」「お疲れさまです」などの後で、相手や状況に応じて一言添えたりお辞儀を加えたりする習慣をつけましょう。

本来は、目下の方が目上の方より先に挨拶するのが基本ですが、例えば目下の方が挨拶できないのであれば、目上の方から積極的に声をかけて挨拶をする習慣をつけるのも良いでしょう。

どんなに人柄が良くても、挨拶をしなければ人間関係は簡単に壊れてしまいます。また、人間関係はコミュニケーションの量も決め手となります。

挨拶をコミュニケーションの量を増やすための絶好の機会と考え、相手より先に挨拶することを心がけましょう。



藤島 淑恵
准教授

自然な挨拶や正しい言葉遣いには、日々の積み重ねが大事です！

正しい敬語を使って 自信と品格を高めよう

言葉遣いには、話す人の人柄が現れます。とくに、相手に対する親しみや尊敬の気持ちを表現できる敬語を正しく使うことは、大人の鉄則だと言っても過言ではありません。正しい敬語を使うことができれば、初対面の人や目上の方の前でも、その差をふまえた「自然な会話を交わすことができます。敬意や配慮が感じられる言葉遣いは、相手や周囲の人からの信頼を得、物事もスムーズに運ぶようになります。一方、敬語の使い方を間違えることで思わぬトラブルを生むこともあるので、しっかり身につけたいマナーのひとつです。

【敬語の種類】 2007年文化審議会の答申で、これまで3種類に分けて説明されることが多かった敬語が、以下の5種類に分けられることになりました。

丁寧語

聞き手が話し手よりも上位であることを表す。「です」「ます」「ございます」

※尊敬語、謙譲語Ⅰ・Ⅱのはほとんどは丁寧語と組み合わせて使われる。

美化語

誰かへの敬意を表すのではなく、言葉遣いを上品にし、話し手の品格を保つ場合などに使う。

「お」「ご」を付け足す例

名前 → お名前 住所 → ご住所
忙しい → お忙しい

言い換える例

汁 → おつゆ 水 → おひや

謙譲語Ⅰ・Ⅱ

謙譲語は自分や身内の行動に対してへりくだって使う表現。動詞に「お(ご)～する(いたす)」を付け加えて用いる。Ⅰは敬意の対象が行為の向かう先。Ⅱは敬意の対象が読み手・聞き手。

謙譲語の例

行く → 伺う 見る → 拝見する
話す → 申し上げる 読む → お読みする

謙譲語ⅠとⅡの違い

- 先生のところへ伺います
行為の向かう先である「先生」に敬意
- ×弟のところへ伺います
行為の向かう先の「弟」は身内なので敬意を表すのは間違い
- 弟のところへ参ります
※読み手や聞き手に敬意を表す謙譲語Ⅱ

尊敬語

敬意を表す相手の行動に対して使う表現。動詞に対し「れる」「られる」や「お(ご)～になる」を付け加えて用いる。また、動詞に「お」や「ご」を付けることでより丁寧な言い方になる。

尊敬語の例

読む < 読まれる < お読みになる
※「れる」「られる」より「お(ご)～になる」の方が、敬意が高い表現となる

言い換える例

行く・行かれる
×お行きになる → いらっしゃる

Check!

間違って使っていませんか？

敬語に慣れていないと、対象を間違えて用いてしまったり、不必要な言葉を用いたりして、相手に不快な思いをさせてしまうことがあります。いつでも自然に使えるように、日々の生活でも使うことを心がけましょう。

【尊敬語と謙譲語の混同】

- 担当の者が
おっしゃっていました
- × 担当の者が
おっしゃっていました

- お客様がおっしゃいました
- × お客様が申しました

【二重敬語】

- お越しになりましたか
- × お越しになりましたか

- 伺います
- × お伺いいたします

【丁寧語と尊敬語の混同】

- どちら様で
いらっしゃいますか
- × どちら様で
いらっしゃいますか

- どちらを
お尋ねでございますか
- × どちらを
お尋ねでございますか

【不必要なサ入れ言葉】

- 試供品を使わせて
いただきました
- × 試供品を使わせて
いただきました

- 置かせていただきます
- × 置かせていただきます

【マニュアル敬語】

- よろしかったでしょうか？
- × よろしかったでしょうか？

- 1000円になります
- × 1000円になります

【何様敬語】

- お分かりますか？
- × お分かりますか？

- ご不明な点は
ございませんか？
- × ご不明な点は
参考になりました
勉強になりました

『牛乳を飲モ〜キャンペーン』店頭イベントを実施
流通科学部 手嶋ゼミ

3月25日、26日の2日間、流通科学部手嶋ゼミ生が、イオン原ショッピングセンターにて、「牛乳のおいしさ：うれしいヒミツを大切な人に伝えよう！『牛乳を飲モ〜キャンペーン』を行いました。

この取り組みは、飲用牛乳の生産量・消費量の減少という乳業メーカーが直面する課題に関心を持った学生たちが、「牛乳の美味しさや魅力を知ってほしい。大学で学んだマーケティングや商品開発の知識を活かして消費拡大のお手伝いがしたい！」と企画提案し、株式会社明治西日本支社、イオン原ショッピングセンターの協力を得て実施されることになりました。キャンペーンの内容は、①手に取って読みなくなる・誰かに伝えたいくなる商品リーフレット制作、②牛乳を飲むきっかけ作りとして、ホットチョコスプーン作り体験の店頭イベントの2つです。

イベントには2日間で子ども達を中心に200名を超えるお客様が参加され、「ホットチョコプレートにしたら子どもも飲みやすそう」「牛乳を買って帰ります」「嬉しコメントが寄せられました。リーダーの佐藤珠奈さんは「このプロジェクトで、自分達が考えた企画やコンセプトが形になる面白さを実感しました。実は中村は第一志望の大学ではなかったのですが、流通科学部でマーケティングを中心に様々なこと

を学ぶことができ、また学んだことを活かせるチャンスやサポート体制が整っていたので、このような挑戦をすることができました。今後の就職活動や卒業研究にも活かしていきたいと思っています」と、ゼミ活動を通じて感じたことを話してくれました。

を学ぶことができ、また学んだことを活かせるチャンスやサポート体制が整っていたので、このような挑戦をすることができました。今後の就職活動や卒業研究にも活かしていきたいと思っています」と、ゼミ活動を通じて感じたことを話してくれました。



店頭イベントで作ったホットチョコスプーン



ゼミ生が制作したリーフレット

事業所内保育所

「中村学園あけぼの保育園」が開設

平成29年4月1日、事業所内保育所「中村学園あけぼの保育園」が開設されました。この保育所は、学校法人中村学園に勤務する教職員の仕事と育児の両立を支援し、安心して子供を預け、勤務に専念する環境を提供することを目的としています。



対象児は0歳児から2歳児で、0歳児の

いちご組、1歳児のみかん組、2歳児のぶどう組に分かれ、それぞれの発達段階に合わせたおもちゃや食器などが準備されています。また、中村学園大学付属おひさま保育園の献立に準じて、自園調理での給食が提供されます。

小規模でありながら充実した施設設備とサービスの提供を目指し、仕事と育児の両立を支援する職場環境づくりが期待されます。



「チャレンジ!! オープンガバナンス2016」のファイナリストに選出 流通科学部 浅岡ゼミ

流通科学部浅岡ゼミ生は、唐人町商店街振興組合、福岡市、福岡地域戦略推進協議会とともに昨年の10月から「福岡市にある商店街の振興―唐人町商店街の活性化」に取り組んでいます。福岡市が公開しているオープンデータの分析やフィールドワーク、インタビュー調査などを経て活性化案をまとめました。この成果を東京大学公共政策大学院が主催する「チャレンジ!! オープン



ガバナンス2016(COG)に応募したところ、社会人チームに交じり、ファイナリスト13チームに選出され、3月12日、東京大学で開催された最終公開審査に参加しました。COGでは、地域が抱える課題に対して、市民や学生がオープンデータを活用したアイデアを提案します。浅岡ゼミでは、商店街の売上や利益につながるデータと認知度を向上させ集客を図るデータから成るアイデアを発表しました。今後は、下級生のゼミ生が研究を引き継ぎ、プロジェクトの実現を目指します。



「平成28年度食育講座
「学生と学ぶ」からだの不思議と健康」
開催報告

本学では、地域コミュニティとの連携を深めるため、本学学生食堂「食育館」の主催で「食育講座」を開催しています。

平成28年度は「学生と学ぶ」からだの不思議と健康」をテーマに、計4回の講座を開催し、のべ21名の地域の方、および学生が参加しました。地域住民と学生がともからだと食に関する基礎を学び、講義後は「食育館」にて「一汁三菜」のランチを楽しみながら、「共食」を通じて交流を深めました。平成29年度も地域住民の方を対象にした講座を開催予定です。



■平成28年度 開催プログラム

回	開催日	講座テーマ	講師
第1回	平成28年7月16日(土)	あなたに必要な食事を 知っていますか?	准教授 大和 孝子
第2回	平成28年10月29日(土)	骨を守るために できること	教授 河手 久弥
第3回	平成28年12月17日(土)	からだの不思議と健康 ～筋肉編～	准教授 日野真一郎
第4回	平成29年3月18日(土)	食事の役割と 栄養バランス	准教授 内田 和宏



春のオープンキャンパス開催



3月18日、春のオープンキャンパスが開催されました。各学科の模擬授業や入試相談、学科紹介のほか、学生による



キャンパスツアーや学生生活相談など、多くのイベントが催されました。多くの在学生がスタッフとして関わり、

来場した高校生の案内や相談に応えました。また、各サークルが参加し、食育館でのパフォーマンスやサークル紹介動画の制作などを行い、イベントを盛り上げました。次回、夏のオープンキャンパスは、8月5日と19日に開催される予定です。

平成28年度
中村学園教職教育研究会 開催

3月9日、本学にて「平成28年度中村学園教職教育研究会」が開催されました。この研究会は、教職教育センター、教育学部、幼児保育学科の主催で開催され、中村学園における教職教育研究の成果発表、および教育内容や学生指導に関する意識の共有化を図ることが目的とされています。第一回目の開催となる本研究会では、13組による研究発表が行われました。より質の高い教育者・保育者の育成のために、さまざまな観点から授業や取り組みが実践され、検証されている様子が見え、

た。各研究の発表後には、活発な意見交換が行われました。



「食育・地産地消県民大会」に本学学生が参加

2月13日、アクロス福岡(福岡市中央区)にて食育・地産地消ふくおか県民会議およびJA福岡中央会が主催する「食育・地産地消県民大会」が開催されました。この大会は、食や食を支える農林水産業の大切さを県民みんなで考えることを目的としています。プログラムの一つである大学生ネットワークパネルディスカッション「若い力が食や農業を変える!!」では、本学の学生も参加しました。

本学からパネルディスカッションに登壇したのは、栄養科学部の西田知奈美さんと短期大学部食物栄養学科の横山日那乃さん。横山さんは2年間参加したアグリスクールの活動内容を報告し、収穫の喜びと、同時に、多くの収穫物が規格外とされ商品にならず、完売することの難しさを話しました。また、西田さん



は、朝倉市秋月での梨の収穫体験や販売活動を通じて、若者の果物離れ、地産地消などの課題を考えるきっかけになったそうです。4月から栄養教諭として働く西田さんは、子どもたちには農業体験を通し、農業や地元の生産物を身近に感じて欲しい、と提案しました。

そのほか、パネリストの大学生から、SNSで収穫体験や地元の生産物を使った料理を若い世代にも発信したい、といった若者らしい発言もあり、食や農に対する意識の高さが窺えました。間もなく社会人となる彼らの、食や農への貢献が期待されます。

中村学園女子高等学校 剣道部が2大会で全国優勝!

中村学園女子高等学校剣道部が、3月末に開催された2つの大会において全国優勝し、2冠を達成しました。



第26回全国高等学校剣道選抜大会において2年ぶり4度目の優勝を果たし、第33回魁星旗争奪全国高校女子剣



道大会においては初優勝となりました。昨年の玉竜旗高校剣道大会、インターハイに続く全国大会の連続制覇の偉業に、学校全体が歓喜に包まれました。

栄養科学部生11名が中村調理製菓専門学校「調理師科夜間コース」を卒業

3月17日、ホテルオークラ福岡において中村調理製菓専門学校「平成28年度卒業証書授与式」が挙行され、栄養科学部の学生11名が「調理師科夜間コース」を卒業しました。この11名は、平成27年10月に姉妹校・中村調理専門学校「調理師科夜間コース」に入学、ダブルスクールで週4日間夜間通学し、調理師免許を取得しました。昼間の大学での授業と夜間の専門学校の授業、アルバイトなどを両立し、多忙な生活の中で学業を修めました。

そのほか、パネリストの大学生から、SNSで収穫体験や地元の生産物を使った料理を若い世代にも発信したい、といった若者らしい発言もあり、食や農に対する意識の高さが窺えました。間もなく社会人となる彼らの、食や農への貢献が期待されます。

中村調理製菓専門学校では、4月および10月に入学者を募集しており、夜間コースでは、大学の授業終了後の送迎バ





平成28年度 中村学園大学同窓会奨学金奨学生証交付式

3月8日、平成28年度中村学園大学同窓会奨学金奨学生証交付式が行われました。

この奨学金制度は、中村学園大学の学生のリーダー的人材育成のため奨学奨励並びにスポーツ・文化活動の向上に資することを目的とするもので、中村学園大学に在籍する学生及び学内の団体のうち、同窓会が認定した学業成績を取った者、または同窓会が認定した各大会等で優秀な成績を取った個人または団体が対象となります。
本年度は学生1名、ならびに6団体が奨学生に選ばれました。



- 流通科学部 YANG ZHEN(ヨウ シン)
- 弓道部 ●児童文化部
- フラダンス部 ●薬膳・食育ボランティア部
- 和太鼓部 輝米音楽座 ●小児糖尿病サマーキャンプ

「男の料理教室」を開催

2月17日、男子学生を対象にした「男の料理教室」が開催されました。この料理教室は、男子学生が一汁三菜メニューの調理体験、試食を行い、食事の大切さを再確認してもらうことを目的としています。講師は川島 年生 准教授(栄養科学部)、受講生は大学3学部から、16名の男子学生が集まりました。参加者の中から栄



加者の中から栄

学生も多くいましたが、班で協力して完成させ、楽しい昼食会となりました。平成29年度も男子学生を対象に「男の料理教室」を開催する予定です。



養科学部の男子学生2名が助手を務めました。はじめに川島先生の示範を受け、次に4名ずつの班に分かれて調理実習を行いました。慣れない調理に戸惑う

台湾協定校研修

国際交流



2月26日から3月4日まで、台湾の協定校である崇仁医療管理専科学校と美和科技大学において、学生の国際交流と異文化体験・理解を目的とした研修が行われました。本学内で全学生を対象に公募が行われ、大学生4名、短大生5名の合計9名が第1期研修生となりました。

両協定校では熱烈な歓迎を受け、学内見学やフィールドワークなど様々な活動を通じ交流を深めました。参加した学生は、中国語、英語、日本語を交えたコミュニケーションを図り、有意義な1週間を過ごしました。



韓国海洋大学校との国際交流協定を締結

国際交流

2月22日、韓国海洋大学校 世界海洋発展研究所と中村学園大学・中村学園大学短期大学部は、国際交流協定を締結しました。

同日、韓国海洋大学校 世界海洋発展研究所のジャン所長、キム教授が来学され、甲斐学長と両大で実現可能な交流内容、共同研究等について協議しました。今後、セミナーを開催するなど交流を深めていく予定です。



平成28年度
総合GPA優秀者表彰

平成28年度学位記授与式において、「中村ハル育英奨学金規程」による、平成28年度総合GPA優秀者に表彰状と純金製のメダルを配した盾が贈られました。

- 短期大学部 食物栄養学科 時津 朝美
 キャリア開発学科 秋永 大和
 幼児保育学科 松尾 結衣
 栄養科学部 栄養科学科 長澤 友里
 教育学部 児童幼児教育学科 緒方 優子
 流通科学部 流通科学科 安藤 早弥花

※GPAとは、Grade Point Averageの略です。GPAは、学生が履修した科目の成績の評価に応じて、秀(4点)、優(3点)、良(2点)、可(1点)、不可、不認定(0点)としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPAと、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。

教職員の動き

●採用人事



(平成29年3月1日付)
 教務部課員 東 真琴



(平成29年4月1日付)
 教授(大学・薬膳科学研究所) 徳井 孝孝



教授(大学・栄養科学部) 池上 徹



教授(大学・栄養科学部) 水元 芳



教授(大学・教育学部) 松田 武雄

平成28年度
各協会表彰

学位記授与式当日、平成28年度各協会表彰式が行われました。これらは、免許資格取得者(栄養士・保育士・フードスペシャリスト)のうち特に優秀な成績で卒業する学生を各協会が表彰するものです。

●全国栄養士養成施設
協会理事表彰者

- 短期大学部 食物栄養学科 萩原 亜衣
 栄養科学部 栄養科学科 山口 望美

●全国保育士養成協議会
会長表彰者

- 短期大学部 幼児保育学科 松尾 結衣
 教育学部 児童幼児教育学科 緒方 優子

●日本フードスペシャリスト
協会会長表彰者

- 短期大学部 食物栄養学科 脇山 佳奈

●平成29年度役職者

- 学長(大学・短期大学部) 甲斐 論
 大学院栄養科学部研究科長 津田 博子
 大学院教育学研究科長 相良 康弘
 大学院流通科学研究科長 片山 富弘
 栄養科学部長 中野 修治
 栄養科学科主任 三成 由美
 フード・マネジメント学科主任 太田 英明
 栄養科学部学部長補佐 大和 孝子
 教育学部学部長 笠原 正洋
 教育学部学部長補佐 中野 裕史
 教育学部学部長補佐 野上 俊一
 流通科学部学部長 浅岡 由美
 流通科学部学部長補佐 木下 和也
 流通科学部学部長補佐 音成 陽子
 短期大学学部長 酒見 康廣
 食物栄養学科主任 寺澤 洋子

教員の表彰

一般社団法人全国保育士
養成協議会会長表彰

平成29年2月、松尾智則教授(幼児保育学科)が、一般社団法人全国保育士養成協議会会長から表彰を受けました。この表彰は、永年にわたり保育士養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に対して贈られるものです。松尾智則教授は、本学でこれまで25年以上にわたり、保育士養成に携わっています。



- 教務部事務部長兼学修支援課長 大川 貴光(庶務課長)
 庶務課長 溝口 恒(教務部課長補佐)

●常勤教職員から専任教職員への人事
(平成29年4月1日付)

- 講師(大学) 岡田 充弘(講師・大学)
 助手(大学) 安藤 優加(常勤助手・大学)
 助手(大学) 甲斐田遥香(常勤助手・大学)
 助手(大学) 能口 健太(常勤助手・大学)
 助手(大学) 御手洗早也伽(常勤助手・大学)
 助手(大学) 新井しのぶ(常勤助手・大学)
 専任幼稚園教諭 永田 温美(専任幼稚園教諭)

- 配置換え人事(平成29年4月1日付)
 教授(大学) 松隈 美紀(教授・短大)
 准教授(大学) 手嶋 康則(准教授・短大)

生活経済学会
第32回研究大会会長賞受賞

平成28年6月、吉川卓也准教授(流通科学部)が、生活経済学会第32回研究大会会長賞を受賞しました。吉川准教授は、研究報告「ランカスターの特性アプローチによる家計の金融資産選択行動」において、安全性、収益性、保証性といった金融資産の特性に注目し、日本の家計の金融資産選択行動を分析した報告が評価され、同賞が授与されました。



平成28年度
ベストティーチャー賞表彰

4月20日、平成28年度ベストティーチャー賞の表彰式が行われました。

本学では、教員の意欲向上と授業改善の活性化を図ることを目的として、教育内容・方法の改善に取り組み、教育実践に顕著な成果をあげた教員を「ベストティーチャー賞」として表彰しています。学内の選考委員会が、毎学期に行う学生による授業評価アンケートの結果をもとに受講者数や授業形態、工夫点などを総合的に評価し、大学各学部から1名ずつ、短



- 准教授(大学・流通科学部) 小林 修
- 講師(大学・栄養科学部) 吉村 美路
- 講師(大学・教育学部) 重橋 史朗
- 講師(大学・教育学部) 益田 仁
- 講師(大学・教育学部) 村原 英樹
- 常勤助手(大学・栄養科学部) 前田 翔子
- 常勤助手(大学・教育学部) 白石 恵里
- 常勤助手(短大・食物栄養学科) 中小原 柚衣
- 常勤助手(短大・食物栄養学科) 伊藤 汐理
- 法人本部 経営企画部 石井 沙耶香
- 経営企画室 課員 江藤 智司
- 教務部 課員 飯塚 真理子
- 学生部 課員 土妻 崎種知
- 学生部 課員 光野 恭平
- 入試広報部 課員 川口 祥郁
- 入試広報部 課員 川内 大和
- 学術情報部 課員 三根 玉樹
- 庶務課 勤務職員 井上 歩美
- あけぼの保育園 常勤講師 矢野 眞弓
- あけぼの保育園 主任保育職員 山形 由美
- あけぼの保育園 保育職員 松本 真季

教職員の出版物

著者は、本学教員のみ記載※ 両書き等は発行日現在のもの



『流通科学のグローバル実証研究』

- | | | | |
|-----------|-------|-----|----|
| 甲斐 諭 | 流通科学部 | 教授 | 編著 |
| 浅岡 柚美 | 流通科学部 | 教授 | 編著 |
| 片山 富弘 | 流通科学部 | 教授 | 編著 |
| 朴 晟材 | 流通科学部 | 准教授 | 編著 |
| 近江 貴治 | 流通科学部 | 准教授 | 共著 |
| 徐 湧 | 流通科学部 | 准教授 | 共著 |
| 手嶋 恵美 | 流通科学部 | 准教授 | 共著 |
| 中川 宏道 | 流通科学部 | 准教授 | 共著 |
| マキネス・スコット | 流通科学部 | 講師 | 共著 |
- (権歌書房 平成29年1月)



『新版 経営学概論』

- | | | | |
|-------|-------|-----|----|
| 片山 富弘 | 流通科学部 | 教授 | 編著 |
| 山田 啓一 | 流通科学部 | 教授 | 共著 |
| 木下 和也 | 流通科学部 | 教授 | 共著 |
| 日野 修造 | 流通科学部 | 教授 | 共著 |
| 前田 卓雄 | 流通科学部 | 教授 | 共著 |
| 朴 晟材 | 流通科学部 | 准教授 | 共著 |
- (同友館 平成29年1月)



『TESOL Voices: Insider Accounts of Classroom Life, Higher Education』

- 津田 晶子 食物栄養学科 准教授 共著
(TESOL Press 平成29年2月)



『文学ムック たべるのがおそい vol.3』

- 岩尾 祐介(筆名:相川英輔) 学生部係長 共著
(書肆侃侃房 平成29年4月)

- キャリア開発学 科主任 梶田 鈴子
- 幼児保育学 科主任 増田 隆
- 図書館 長 古賀 範雄
- 薬膳科学 研究所長 徳井 教孝
- 発達支援センター 長 吉川 昌子
- 流通科学 研究所長 甲斐 諭
- 大学付属あさひ幼稚園 園長 平田 繁
- 大学付属あさひ幼稚園 主任教諭 志水 陽子
- 大学付属あさひ幼稚園 主任教諭 圓入 智仁
- 大学付属あさひ幼稚園 園長 圓入 智仁
- 大学付属あさひ幼稚園 主任教諭 樋渡 紗由里

●昇格人事(平成29年4月1日付)

法人本部 法人本部長

中村 絃石

(法人本部 財務部長 兼 経営企画部 次長)

法人本部 総務部 次長

辻原 陽一(兼 総務 企画課)

教授(大学)

教授(大学)

教授(大学)

准教授(大学)

准教授(短大)

准教授(短大)

准教授(短大)

講師(大学)

講師(短大)

助教(大学)

- 大和 孝子(准教授・大学)
- 中野 裕史(准教授・大学)
- 前田 卓雄(准教授・大学)
- 中川 宏道(講師・大学)
- 藤島 淑恵(講師・短大)
- 中村 宏子(講師・短大)
- 松園 聡美(講師・短大)
- 倉原 弘子(助教・大学)
- 長光 博史(助教・短大)
- 山本 健太(助手・大学)

●退職人事(平成29年3月31日付)

法人本部 法人本部長

兼 総務部長 兼 経営企画部 次長

教授(大学)

教授(大学)

教授(大学)

准教授(大学)

助手(大学)

助手(短大)

助手(短大)

庶務課 勤務職員

あさひ幼稚園 教諭

あさひ幼稚園 教諭

- 上森 啓史
- 井上 寛七
- 針塚 進
- 望田 研吾
- 野中 昭彦
- 五郎丸 瞭子
- 泊 羊子
- 福松 亜希
- 古川 菜育
- 平山 陽祐
- 田中 陽子

●兼務人事(平成29年4月1日付)

法人本部 財務部長 兼 経営企画部 次長

大石 勇治(法人本部 財務部長)

●退職人事(平成29年3月31日付)

原 真莉子(あさひ幼稚園 教諭)

(教務部 事務部長 兼 事務支援課 長)

赤司 博文

女子中学校・高校 事務長

古閑 希(入試広報部 課員)

松田 直子(財務部 管理課 員)

古田 宗宜(講師・短大)

法人本部 総務部 総務・人事 課課員

法人本部 財務部 管理 課課員

講義(大学)

講義(大学)

講義(大学)

講義(大学)

講義(大学)

講義(大学)

講義(大学)

講義(大学)



※平成29年度より
栄養科学部フード・マネジメント学科 講師

期 大学部から1名の専任教員に授与して
います。平成28年度は左記4名の教員に
授与されました。

〔平成28年度ベストティーチャー賞〕

栄養科学部
川島 年生 准教授

教育学部
吹氣 弘高 准教授

受験生応援サイト



Coming Soon!

H29.6月「受験生応援サイト」開設

オープンキャンパスや入試の最新情報はもちろん、ゼミやサークルといった
在学生のキャンパスライフなど、受験生が知りたい情報を分かりやすく発信します。

※TOP画面イメージ

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、広報室宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。※保護者の方には毎号送付しています。
[申込先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1
中村学園大学 広報室「広報誌定期購読申込」係

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

公式 facebook ページ

